

# 継続を求める会ニュース

2024年9月4日発行 第3号

市へ最終署名提出

# 22,446筆

市内 14,876筆 市外・県外 7,570筆  
(他. オンライン署名 146筆)

最終報告として、9月2日に市長宛に障害福祉課へ提出して参りました。8月2日以降、11,683筆（市内6,726筆、市内・県外4,957筆）集まり、目標としていた2万筆を超える数をお届けしました。また、保護者からのメッセージも合わせてお伝えし、今回の署名活動を通して、見えてきた課題や提言もさせていただきました。

今回は市長との面会は残念ながら叶いませんでしたが、福祉課課長、係長が日程調整に最後まで動いてくださったということでしたので、非常にありがたい気持ちでいっぱいです。わたしたちの活動や署名についても市長へ逐一報告していただいているとのことでしたので、ぜひ市長のお考えも直接お聞かせいただきたいとお願いするお手紙もお渡ししてきました。

右記にもありますように、独自助成の在り方についての検討は継続することでしたが、わたしたちの願いとしては、障害児通所支援の恒久無料化の実現でありますので、引き続き、市の動きも見させていただきながら自分たちも活動を続けていきたいと思っております。

今回の署名では、多くの皆様のご理解、ご協力を頂戴しました。皆様からいただいた声、ひとつひとつ拝見し、また直接いただいたお言葉からも胸が熱くなる思いでした。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

障害があってもなくても、こどもたちが安心して過ごせる社会になるよう、行政へお願いしながらも、わたしたちもできることと一緒に考え、取り組んでいきたいと思います。



## 障害福祉課への質問

Q 昨年9月の防災福祉こども委員会では、障害児通所支援の独自助成の見直し（有料化）について、来年9月の市議会で一定の方向性を報告するとありました。明日から始まる市議会では、何かしらの方向性を報告しますか？

A まずは沢山の署名の声をしっかりと受けとめたいと思います。署名をいただくという状況があるということ、色々な所からご意見をいただいている状況であることから、9月市議会で何かしらの方向性を出す段階には至っていないという風に考えておりまして、引き続き検討をして参りたいという状況でございます。

Q 検討は続けていくことでしょうか？

A そういうことです。

Q 有料化になる可能性も今後まだないとは言えないということでしょうか？

A 有料化するかどうかを含めて、在り方を検討していくという段階でございますので、今この時点で「こうなります」と言うのが、申し訳ないのですが言える状況ではないということでご理解いただければと思います。

Q 事業所数は多いが、支援が必要な子に行き届いていなかったり、質のばらつきがあるとの声が多くきかれました。また、有料化することで質の担保が保たれるという考え方もあるようですが、親の立場からすると療育につながることで精いっぱいであり、転園するのも非常に労力のいることです。毎日の生活に気を張り詰めている保護者にその責任を負わせるのは違うように思うのですが？

A 質の担保も問題となっている話をききます。有料化したら質が担保されるという話は同じではないと認識しています。質の担保については、市の独自の政策や国のガイドライン、評価制度などの仕組みができますので、しっかりと注視しながら、市の独自の取り組みなどしっかりと活用しながら取り組んでいきたいと思っております。

適切な療育がなされているかにつきましては、監査がありますが、機会を通じながら集団指導や研修の場がありますので、適正な療育についてしっかりと指導していきたいと思っております。



障害児通所支援利用者負担無料の継続を求める会

【事務局】〒892-0871 鹿児島市吉野町5916-1 学童支援ゆめの樹内

TEL：090-7390-3057（鮫島）/Fax：099-248-3057

Mail：yumenoki@muginome-fukushi.or.jp